

事業案内



CONTENTS

02

トップメッセージ

一人でも多くの人が幸せになる福祉を目指して

03

公益事業等

- ・ 義肢装具サポートセンター 03
- ・ 総合福祉センター「弘済学園」 04
- ・ 児童養護施設 札幌南藻園 05
- ・ 保育所・認定こども園 06
- ・ 福祉資料室 07
- ・ 社会福祉研究 07
- ・ 朗読録音奉仕者感謝行事 07
- ・ 社会福祉法人 東京弘済園 08
- ・ 他団体への運営協力 08
- ・ 奨学金事業 08

09

行事・イベント

- ・ 社会福祉セミナー 09
- ・ こうさい療育・支援セミナー 09
- ・ わたしたちが創る展 09
- ・ 施設公開 09

10

収益事業

- ・ 不動産賃貸・開発事業 10

11

あゆみ

13

プロフィール

一人でも多くの人が幸せになる福祉を目指して

公益財団法人 鉄道弘済会
会長 森本 雄司



本法人は、公益事業の運営を本旨とする財団法人として、1932年2月に設立されました。設立の趣旨は、国有鉄道の業務に従事し、不慮の事故により殉職された職員の遺族や公傷により退職された職員などの救済と援助を目的としたものでした。第二次大戦後、時代の要請により、一般の方がたをも対象とする一般福祉事業へと公益事業の範囲を拡大し、1987年には国鉄の分割・民営化に伴うキヨスク事業の分離により、自ら保有する資産の運用によって福祉事業を維持、運営する自立型の財団法人として、その途を進むこととなりました。その後、2013年に公益財団法人へと移行し、今日にいたっております。

本法人の行っている公益事業には、身体障害者福祉、児童福祉、知的障害児・者福祉、高齢者福祉などがあります。切断障害者を対象に、医学的管理をもとに義肢製作から機能回復訓練まで一貫して行う民間におけるわが国唯一の総合リハビリテーション施設、知的障害・自閉症児者施設、認可保育所・認定こども園や児童養護施設など、各種福祉施設の運営を全国各地で展開しております。また、福祉に関する実践と研究をつなぐ専門誌の発行及び各種セミナーの開催や視覚障害者用録音図書の作成奉仕者に対する顕彰事業等も行っております。

民間の公益事業団体として先駆的な役割を果たすとともに、ニーズの変化にも対応し、事業内容の充実に努めてまいりました。そして、これらの公益事業に要する費用の不足分は、不動産を有効活用した賃貸事業などの収益事業の益金等をもって充当しております。

法人設立から90年以上が経つ現在も、先人たちの志は変わらず受け継ぎつつ、これから必要とされる福祉にも柔軟かつ積極的に取り組んでいくことで、一人でも多くの利用者やそのご家族・地域の方々が、自分らしく安心して生きることができる共生社会の実現を目指しています。世の中の動き、諸情勢は、広い分野にわたりめまぐるしく変貌しておりますが、本法人はこれからも、社会の様々な課題に真摯に向き合い、利用者一人ひとりに寄り添う質の高い福祉サービスを提供することにより、広く社会に貢献していけるよう全力を傾注してまいります。

■ 公益事業等 ～一人でも多くの方が幸せになる福祉を目指して～

義肢装具サポートセンター（障害者に係る福祉支援事業）

東京都荒川区に設けた義肢装具サポートセンターは、義肢・装具を必要としている切断者・麻痺患者等に対して、医師、看護師、理学療法士、義肢装具士、ソーシャルワーカー等の医療関係職種からなるチームのもと、義肢・装具の処方から製作、修理、義肢装着訓練、機能回復訓練、更生相談に至るまで、入所設備を整えた施設で一貫してサービスを提供する、民間では唯一の総合リハビリテーション施設として運営しています。それぞれの専門家が相互に連携をとりながら、総合的・多面的に関わることで、利用者の早期社会復帰を支援しています。

当センターでは、利用者の「生活の質の向上」を図るため、義肢・装具の研究開発にも積極的に取り組み、利用者の社会参加に貢献しています。また、当センターの義肢装具士を障害者スポーツ大会やパラリンピックにメカニックとして派遣し、アスリートを支援するとともに、障害者スポーツの裾野を広げることを目的に、初心者向け走行体験会「THE FIRST STEP」の開催やスポーツ用義足の貸出等を行っています。

このほか、幼稚園・保育所の年長児から小・中学生を中心に「出張授業」を実施しています。専門知識を有する職員を講師として派遣し、体験を通して義肢・装具のしくみを学ぶだけでなく、障害のある方と接することで、障害者への理解を深め、社会福祉を考えるきっかけづくりに貢献しています。



施設外観



製作室



装着・歩行訓練



「THE FIRST STEP」の様子

所在地 東京都荒川区南千住4-3-3 電話 03-5615-3313

ホームページアドレス <https://www.kousaikai.or.jp/support/>



総合福祉センター「弘済学園」(障害者に係る福祉支援事業)

神奈川県秦野市に設けた総合福祉センター「弘済学園」は、知的障害・自閉症児者を対象に、障害児者が安心できる生活環境を整え、情緒の安定を引き出し、生きていく力を養い、それぞれの自立に向けた療育支援を行うことを大きな特色としています。

当園では、福祉型障害児入所施設、障害者の地域生活を支援するグループホーム、障害者の日中活動を支援する生活介護事業及び就労継続支援B型事業、障害児の早期療育のための児童発達支援センター、学校年齢の障害児の放課後を支援する放課後等デイサービス、在宅の障害児者のニーズによる短期入所事業及び日中一時事業等を運営しています。

なお、生活介護事業及び就労継続支援B型事業では、障害者の社会参加と工賃向上を目的に「丹沢HERBS」を立ち上げ、ハーブの栽培から収穫、ハーブティーの生産をすべて手作業で行っています。ハーブティーの生産を通じて自信や意欲を高め、達成感を得て、生きる力を養う機会を提供しています。



施設外観



就労支援「ハーブ作業」



体育「トランポリン」



生活支援「歯磨き」



日中活動支援「歩行」

所在地 神奈川県秦野市北矢名1195-3 電話 0463-77-3222

ホームページアドレス <https://www.kousaikai.or.jp/school/>



児童養護施設 札幌南藻園

(児童又は青少年の健全な育成に係る福祉支援事業)

北海道札幌市に設けた札幌南藻園は、様々な事情により家庭での生活が困難な児童を受け入れ養育するとともに、早期家庭復帰を支援する児童養護施設です。当園では、児童の健やかな育ちに欠かせない愛着形成の機会を確保し、日常生活を通して、情緒の安定と基本的生活習慣の確立を図り、心身ともに健全な社会人となるよう努めています。

そのために、本園を1ユニット児童6人が入居する4棟の小規模グループケアとし、児童6人の分園型小規模グループケア1棟と、同じく児童6人が入居する地域小規模児童養護施設3棟、合計で48人の入居体制を整備し、家庭に近い生活環境において、個別的な支援をする中で、児童一人ひとりの自立に向けた支援を行っています。

児童養護施設に附置した「なんそうえん子ども家庭支援センター」は、子どもや子育てをしている家庭、里親、地域住民等からの相談に応じ、専門の資格を持ったスタッフが必要な助言や支援を行っています。

また、保護者の病気・出産・冠婚葬祭などの理由により、児童を短期間お預かりする「札幌市子育て支援短期利用事業(ショートステイ)」も行っています。



本園(玄関)



本園(リビング)



なんそうえん子ども家庭支援センタープレイルーム



なんそうえん子ども家庭支援センター心理室

所在地 北海道札幌市中央区界川1-6-14 電話 011-561-0668

ホームページアドレス <https://www.kousaikai.or.jp/nansouen/>



保育所・認定こども園（児童又は青少年の健全な育成に係る福祉支援事業）

「一人ひとりの子どもを大切にし、保護者や地域社会から信頼され、選ばれる保育所を目指す」という教育・保育理念のもと、各地域の保育ニーズに合わせて、全国 24 箇所の認可保育所及び認定こども園を運営しています。

各保育所・認定こども園においては、子どもたちの「遊びを通しての学び」を大切にするとともに「延長保育」「障害児保育」「病児・病後児保育」など利用者のニーズに沿った教育・保育を提供しています。

また、「地域子育て支援拠点事業」「一時預かり事業」「育児相談」などにより、地域の子育て家庭への支援を行うほか、「放課後児童クラブ事業」により、就学後も地域において子どもが安心して過ごせる場を提供しています。更に、第三者評価の定期的な受審、各保育所・認定こども園の参加者同士が協働する学びの場である「往還型研修」を実施するとともに、「こうさい保育セミナー」「公開保育」を開催するなど保育の質の向上のための取り組みを行っています。



地域子育て支援センター（旭川認定こども園）



こうさい保育セミナー



元気な子どもたち（和歌山認定こども園）



富山認定こども園と放課後児童クラブ「とやまキッズ」

ホームページアドレス <https://www.kousaikai.or.jp/sukoyaka/>



福祉資料室（社会福祉に関する知識・技術の向上に係る福祉支援事業）

福祉資料室は、社会福祉専門図書館として、1965年に開設しました。社会福祉分野の図書・資料・雑誌等の文献を13,000冊以上所蔵（外部書庫含む）し、社会福祉事業の従事者、研究者、学生、一般の方々に無料で閲覧・貸出を行っています。ホームページでも蔵書検索が可能です。

所在地 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデン ゲートタワー 19階 電話 03-6261-2790
蔵書検索用ホームページアドレス <https://www.lib-finder.net/kosaikai/>



社会福祉研究（社会福祉に関する知識・技術の向上に係る福祉支援事業）

社会福祉の実践と研究をつなぐことを目的に、専門研究誌『社会福祉研究』を年3回発行しています。



社会福祉研究

朗読録音奉仕者感謝行事（障害者に係る福祉支援事業）

視覚障害者等の豊かな生活に欠かせない録音図書は、ボランティアの方々の多くの時間と地道な努力によって製作されています。これらのボランティアの方々に謝意を表するとともに、録音図書の質的向上とボランティア活動の啓発を目的として、社会福祉法人日本盲人福祉委員会との共催により「朗読録音奉仕者感謝行事」を1971年から毎年開催しています。



朗読録音奉仕者感謝の集い

社会福祉法人 東京弘済園 (高齢者に係る福祉支援事業)

1955年12月、本法人は老人福祉事業を行うため、東京都三鷹市に社会福祉法人東京弘済園を設立しました。東京弘済園では、特別養護老人ホーム「弘済園」、養護老人ホーム「弘寿園」、ケアハウス「弘陽園」の3つの入所施設と、デイサービスセンター「弘済ケアセンター」「三鷹市高齢者センターけやき苑」の2つの通所施設及び2つの地域包括支援センターを運営しています。また、保育所を併設し、高齢者と児童の複合施設として、世代間交流を行うなどの特色を生かした活動を積極的に行っています。

本法人では、東京弘済園への支援を通して高齢者の生活と福祉の充実を図っています。



特別養護老人ホーム「弘済園」



活動風景



園児とのふれあい

所在地 東京都三鷹市下連雀5-2-5 電話 0422-43-3319
ホームページアドレス <https://www.kosaien.or.jp>



他団体への運営協力 (障害者に係る福祉支援事業)

社会福祉法人鉄道身障者福祉協会、社会福祉法人日本視覚障害者団体連合、社会福祉法人日本点字図書館等の社会福祉団体への助成を行っています。

奨学金事業

「福祉人材養成のための奨学金」及び「児童養護施設の卒園者等の自立支援のための奨学金」からなる奨学金事業を実施しています。

■ 行事・イベント ～各福祉事業で培った経験・知識・技能の提供のために～

社会福祉セミナー

社会福祉の実践と研究をつなぐことを目的として、「社会福祉セミナー」を開催しています。社会福祉の分野を幅広く捉えたテーマを選定し、各分野の実践者・研究者による講演やパネルディスカッション等を実施しています。専門性の高い内容のセミナーとして、全国の地方公共団体職員、社会福祉研究者、社会福祉事業従事者、教育機関など多方面の方々のご参加をいただいています。



社会福祉セミナー

こうさい療育・支援セミナー

(総合福祉センター「弘済学園」)

「こうさい療育・支援セミナー」は、弘済学園での療育・支援の実践を基にした研究報告を行い、知的障害・自閉症児者への療育・支援のあり方について知見を分かち合い、情報交換を行うことにより、内外関係職員等の研鑽と専門性向上を図ることを目的として1988年より開催しています。また実際の療育・支援内容を公開しています。



こうさい療育・支援セミナー

わたしたちが創る展

(総合福祉センター「弘済学園」)

弘済学園の利用者が取り組む作業学習を通して自己の可能性への自信を得て、そこから成長していくことを目的に、作業学習等から生まれた織物、木彫、鉢花、タイルモザイク、ビーズ等の作品を展示するものです。「わたしたち」が作った作品に大勢の方に見て触れて関心を持っていただきたい、そして「わたしたち」の未来を共に創り・拓くという意味を込めて開催しています。併せて、会場にて療育相談も実施しています。



弘済学園 「わたしたちが創る展」(東京駅構内)

施設公開

(義肢装具サポートセンター)

義肢装具サポートセンターでは、義肢・装具を身近に感じてもらい、障害者への理解を深めていただくために「施設公開」を毎年開催しています。

製作室、リハビリ室・展示室等の見学のほか、義肢・装具・リハビリ、パラスポーツ等に関する相談会も実施しています。また、日常用義足・スポーツ用義足、筋電義手等の装着体験、義足のアスリートによる走行デモンストレーションなど様々な催しを行っています。



義足アスリートと
南千住駅前保育所の園児とのかけっこ

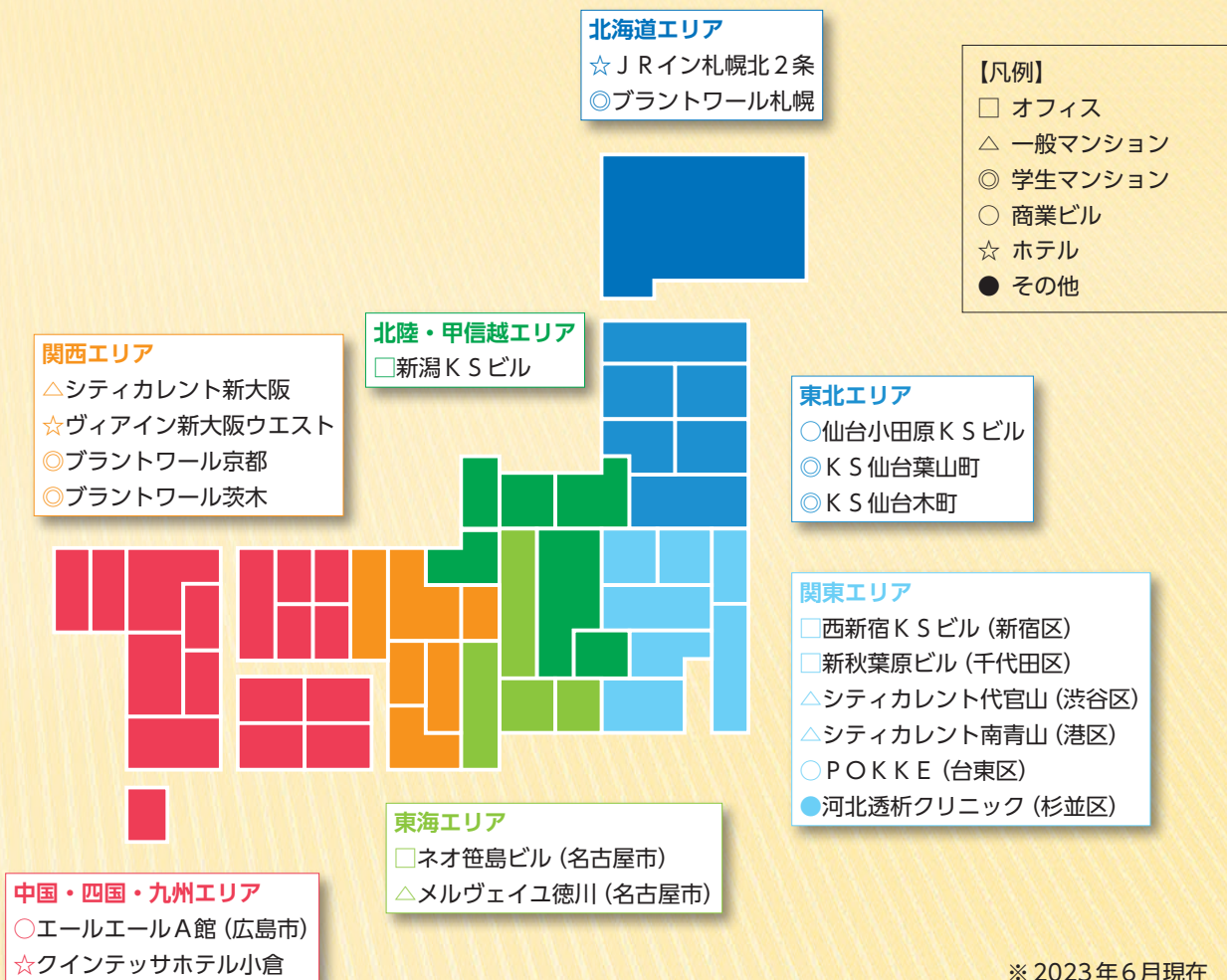
■収益事業 ～公益事業の財源に充てるために～

保有土地・建物を活用した不動産賃貸・開発事業により得た賃料収入で、公益事業を費用面で支えています。

不動産賃貸・開発事業

首都圏をはじめ、全国で賃貸事業を展開しています。

～主な保有物件～

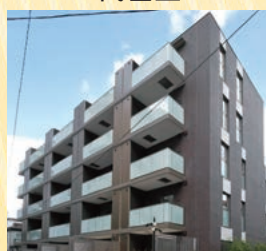


西新宿
K S ビル



オフィスビル

シティカレント
代官山



マンション

P O K K E



商業施設

J R イン
札幌北2条



ホテル

一あゆみ一

1931年～1933年 満州事変
1938年 社会事業法施行
1939年～1945年 第2次世界大戦
1946年 生活保護法施行
1948年 児童福祉法施行
1949年 日本国有鉄道発足
1950年 身体障害者福祉法施行

1932 昭和7年
1936 昭和11年
1943 昭和18年
1944 昭和19年
1949 昭和24年
1950 昭和25年
1951 昭和26年
1952 昭和27年

2 本部事務所を鉄道省内に設置
①
4 東京支部を万世橋駅構内に設置
②
4 売店事業を開始(東京駅・上野駅)



本部設置時の鉄道省庁舎



東京支部(万世橋駅)

1983年 老人保健法施行
1987年 国鉄分割民営化第1回「鉄道の日」
1994年 阪神・淡路大震災
1995年 介護保険法制定
1997年 社会福祉法制定
2000年 障害者自立支援法施行
2006年 障害者自立支援法施行
2011年 東日本大震災
2013年 障害者総合支援法施行

8 初の授産場を
名古屋市内に開設
③



名古屋授産場

4 学生寮を
中野区に開設

8 本部を下谷区上野
元黒門町に移転
④
11 東京義肢製作所を
台東区御徒町に設置
⑤



上野の本部

5 福祉事業の対象を
一般に拡大



東京義肢製作所



昭和20年頃の売店

11 初の旅行者援護相談所を
大阪駅に開設
⑥



大阪駅旅行者
援護相談所

4 初の保育所を
和歌山市に開設
⑦



和歌山保育所

6 福祉所26箇所
を設置

2 厚生大臣表彰



富士見台学生寮

7 キヨスク事業を6分社化

10 運輸大臣表彰

3 学生寮を練馬区に開設
⑬



弘済学園第二児童寮

3 賃貸住宅事業を開始
(KS千駄木)

4 弘済学園に自閉症児施設を開設
⑭

3 初の駅型保育所を戸田駅前に開設
⑮



戸田駅前保育所

3 キヨスク事業を完全分離

5 荒川区南千住に移転
(義肢装具サポートセンターに改称)
⑯



義肢装具サポートセンター

2 弘済事業(株)の清算終了
(関係関連会社整理完了)

4 都内初の保育所を南千住駅前に開設

12 義肢装具サポートセンターに
天皇皇后両陛下による行幸啓を賜る

10 公益財団法人へ移行

1953年
NHKテレビ本放送

1960年
精神薄弱者福祉法施行

1963年
老人福祉法施行

1964年
東海道新幹線開業
第18回夏季オリンピック・
パラリンピック東京大会
母子福祉法施行

1969年
米国の人工衛星
有人月面着陸

1953 昭和28年	1955 昭和30年	1957 昭和32年	1963 昭和38年	1965 昭和40年	1969 昭和44年	1972 昭和47年	1981 昭和56年			
2 児童養護施設「札幌南藻園」を 札幌市に開設⑧	6 知的障害児・者施設 「日向弘済学園」を 千葉県山武郡日向村 に開設⑨	12 社会福祉法人 「東京弘済園」を設立	3 第1回「点訳奉仕者 感謝の集い」を開催⑩	10 弘済学園アフター ケアセンターを 品川区に開設	3 弘済会館(本部)を 千代田区麹町に建設⑪	5 弘済会館に福祉相談室開設	11 社会福祉研修講座を開催 (第1回社会福祉セミナー)	5 東京身体障害者福祉センター を新宿区に開設	10 総合福祉センター「弘済学園」を 神奈川県秦野市に開設⑫	12 内閣総理大臣表彰(国際障害者年)



札幌南藻園



日向弘済学園



第1回「点訳奉仕者感謝の集い」



弘済会館(本部)



総合福祉センター「弘済学園」

2015年
子ども・子育て支援
新制度開始

2017年
JR発足30周年

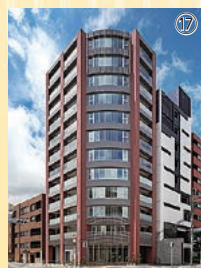
2018年
社会福祉法改正

2019年
幼児教育・保育の
無償化開始

2020年
新型コロナウイルス
感染症流行

2021年
第32回夏季オリンピック・
パラリンピック東京大会

2014 平成26年	2015 平成27年	2016 平成28年	2017 平成29年	2018 平成30年	2019 平成31年	2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	2023 令和5年					
6 港区南青山に新築物件 「シティカレント南青山」が竣工⑬	9 福祉相談室を廃止	4 弘済学園地域生活支援センター「わくわく」 児童発達支援センター「すきっぷ」を開設	4 認定こども園へ移行開始	4 札幌南藻園分園型小規模グループケア 「ひまわり」を開設⑬	11 さいたま市に上木崎保育所を開設	4 台東区上野に商業ビル「POKKE」が竣工⑮	4 弘済学園にデイケアセンター (多機能型事業所)を開設⑯	3 順次閉所を進めてきた福祉所を すべて廃止	4 富山認定こども園に 放課後児童クラブ「とやまキッズ」を開設⑰	4 札幌南藻園地域小規模児童養護施設 「たんぽぽ」を開設	4 富山認定こども園に 放課後児童クラブ「とやまキッズ」を開設⑰	7 本部を文京区小石川へ移転	2 創立90周年	4 札幌南藻園児童家庭支援センター 「なんそうえん子ども家庭支援センター」を開設



シティカレント南青山



札幌南藻園分園型小規模グループケア「ひまわり」



POKKE



弘済学園デイケアセンター



富山認定こども園
放課後児童クラブ
「とやまキッズ」

■ プロフィール

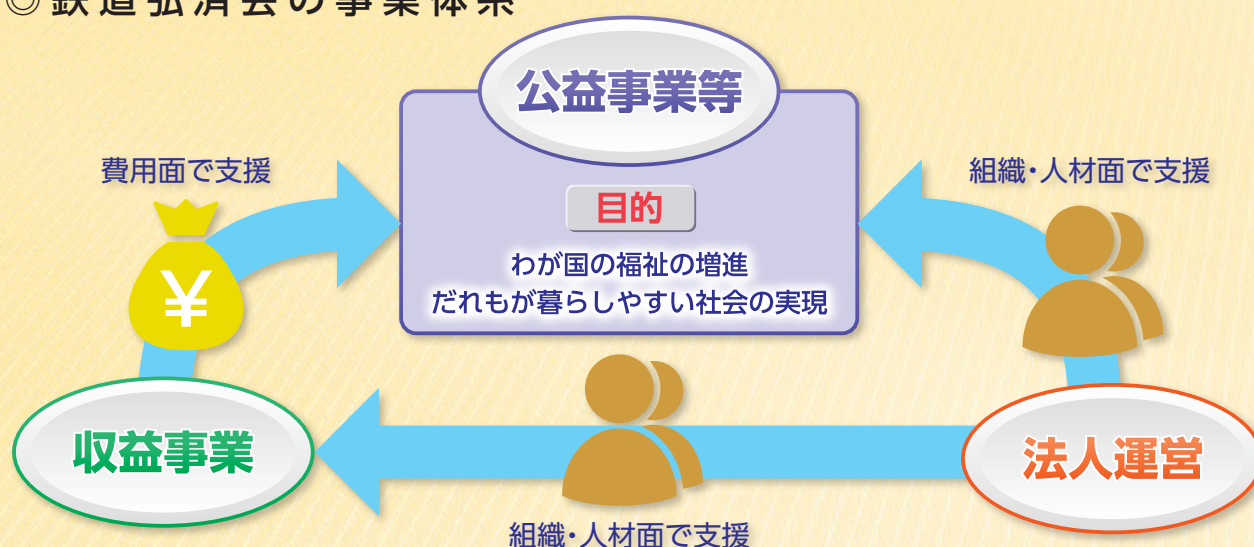
◎ 設立

鉄道弘済会は、1932年2月25日、国有鉄道の職域福祉団体として、公傷退職者、永年勤続した退職者並びにその遺族及び殉職者の遺族を救済・援護する目的を持って、片岡調郎、堀木鎌三、高橋定一各氏らの尽力により、当時の鉄道省が5,000円を出捐し、設立者名義を床次竹二郎（当時の鉄道大臣）として設立されました。

◎ 目的

本法人は、障害者、児童又は青少年、高齢者及びそれらの家族など支援を要する者の諸問題の解決と改善に向けて必要と認める支援を行うとともに、（中略）わが国の福祉の増進並びにだれもが暮らしやすい社会の実現に寄与することを目的とする。（定款第3条より一部抜粋）

◎ 鉄道弘済会の事業体系



■ 基本理念・行動指針

基本理念

鉄道弘済会は、1932年（昭和7年）鉄道に従事し、殉職した職員の遺族や身体に障害を負った職員を救済・援護する目的で福祉団体として設立して以来、長年にわたり社会の福祉ニーズに幅広く応える事業を展開してきました。

私たちは、2013年（平成25年）10月公益財団法人として新たにスタートしましたが、設立当時の志を変えることなく、これまで培ってきた経験、知識、技能を高めつつ、更に専門的、先駆的な取り組みに努め、持続的に福祉サービスを提供するとともに、これを収益事業で支え、だれもが暮らしやすい社会の実現に貢献して参ります。

行動指針

（信頼される福祉サービスの提供）

- 1 私たちは、利用者一人ひとりの目線に立ち、まごころ込めた福祉サービスを提供するため、常に専門知識の習得に努め、利用者や地域の方々から信頼される「福祉の鉄道弘済会」を目指します。

（公益目的事業を継続するための自立型運営）

- 2 私たちは、福祉サービスを提供するために、自ら保有する資産の効果的な活用とコストマネジメントを実践しつつ、安定した公益目的事業を遂行し、自立型運営を持続します。

（社会的責任の遂行）

- 3 私たちは、法令遵守の精神に則り、誠実かつ公正に行動し、地球環境の保護に努め、地域社会との共生に取り組みます。

～全国に広がる福祉のネットワーク～

○法人概況

設 立	1932年2月25日 財団法人鉄道弘済会設立 ※2013年10月1日 公益財団法人へ移行
基本財産	235億円
従業員数	1,140名(2023年6月1日現在)



○本部・地方機関の所在地

本 部	東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデン ゲートタワー19階	電話	03-6261-3298
北海道支部	北海道札幌市中央区南一条西1-2 松崎ビル	電話	011-271-3109
東北支部	宮城県仙台市若林区成田町75-1	電話	022-291-5175
東海支部	愛知県名古屋市中村区名駅3-22-8 (東海キヨスク株式会社内)	電話	03-6261-3298
西日本支部	大阪府大阪市北区梅田1-1-3-600 大阪駅前第3ビル	電話	06-6343-2771
四国支部	香川県高松市西内町4-6 神原ビル	電話	087-851-0436
九州支部	福岡県北九州市小倉北区浅野1-1-1 アミュプラザ	電話	093-541-3529

